

SSKW 働こう障害者も 働けるんだオしたちも

こぶしだより

企画：社会福祉法人 こぶしの会 責任者：藤田 勝春 編集責任者：鈴木 順子
編集：こぶし作業所 (〒321-0902) 宇都宮市柳田町1401番地

特集 余暇活動



仕事の合間にちょっと一息!!

No.294



～ 目 次 ～

- ① 特集..... 2～3 P
- ② こぶし作業所のページ..... 4 P
- ③ けやき作業所のページ..... 5 P
- ④ 県東ライフサポートセンター、
第2 けやき作業所のページ..... 6 P
- ⑤ セルプ・みらいのページ..... 7 P

余暇活動



こぶしの会では、各事業所ごとに利用者さんの興味・関心のあることや季節的なものを考慮し様々な活動を行っています。

けやき作業所デイサービスセンターの余暇活動

けやき作業所の目指す余暇活動

けやき作業所では「障害のある

人たちは学校卒業後の生涯教育・社会教育の保障と内容の充実が障害者の自立した人間としての人格形成と生きがいのある豊かな生活(QOL)をつくる上で緊急に求められている。社会福祉法人こぶしの会第二期長期計画の事前のアンケートでも明らかにしているが、はたらく場、暮らしの場以外の自主的・主体的な仲間関係を保障する第三の場、余暇・レクリエーション・社会教育の場は前者二つの

場を安定させるためにも、生きがいのある人生を創る上でも重要な位置を占めている。私たちは、本人の社会人としての主人公性を支援し、生きてきてよかったと言える人生を支えるためにけやき作業所デイサービスセンターの余暇活動を大切にし、さらに充実させる必要がある。

けやき作業所デイサービスセンターの余暇活動は利用者が主人公になり、自分自身の興味関心から、豊かな人生を自分自身で創っていく活動を目指していく。その内容はできる限り同年齢の興味関心と、本物の余暇・レクリエーションの内容を保障していく。

一方で本人が理解しやすい工夫や、社会教育的配慮を保障する。

そのためにも、地域の専門家や関係者、ボランティアを組織し、

地域ぐるみでノーマライゼーションや本物の文化が豊かに花咲く地域づくりを目指していく(文化・余暇活動の目指すもの 二〇〇三年七月八日提案)と文化・余暇活動の理念を確認した。

ホリデイ(休日のデイサービス)のとりくみ

月々のホリデイを決める際は自治会役員の方々を中心に話し合いを進めています。職員からホリデイの提案をさせていただくことも

ありますが、基本は、ホリデイ運営会議ですべてのなかまにホリデイの提案をできる準備をし、自治会全体会で決めるという流れです。また、ホリデイ運営会議には、地域の元教員(社会科専攻)であった方にきていただき、実際に、社会の出来事についてお話いただいたり、会議の助言をいただいたりしています。

具体的には、余暇・レクリエーション活動として花見・買い物・

忘年会・カラオケ・映画・ボーリング等を行っています。中でも、人気が高いのは、買い物やカラオケホリデイです。アンコールもあり、数回行っております。社会教育としては、専門家の方々によるトランポリン教室・書道教室・ヘルパー体験などを行いました。利用者の方のなかには専門家の方からみて「素質がある」と言われた方もいらっしゃいました。一二月のはじめには、日帰り旅行を計画しています。

これからの課題

まだ三年目の余暇活動で、本当に利用者の方々に満足していただけるものになっているかという点、疑問であります。

趣旨でも、述べられているとおり、「地域ぐるみ」での余暇活動にとどまらず、本格的な文化活動を創っていくことが目標です。しかし、現在の余暇活動は、まだ「作業所内の余暇活動」の域を脱しき

れていません。今後、地域の中で専門家・ボランティアを組織しつつ、けやき作業所利用者の方のみならず、地域で社会参加を必要とされている全ての方に余暇活動が浸透するよう、「地域づくり」を広めていくことが課題です。一月からは消防署跡地を借り受け（ヘイコーパック株式会社より）活動の拠点をつくりました。座談会と称して第2けやき作業所の自治会役員と一緒に今後の取り組みを話し合っています。

こぶしの余暇支援活動

過去の余暇支援活動の中で長く取り組まれていたのは、日曜作業所の「買い物訓練」でした。給料日の後の日曜日に、そのもらった給料を使って欲しいものを買う、といったものでした。お金の使い方や価値を覚えるのと同時に、働いて得た給料で自分の要求を実現し、生活の質を高め自立への一歩

を踏むといった内容でした。少ない給料の小さな買い物かもしれない。それでも、親からもらうお金遣いではなく、働いたお金を自分のために使うことは、様々な要求の掘り起こしや、大人としての成長のきっかけになった利用者も少なくありませんでした。そんな中、マンネリ化を改善しようと試行錯誤を繰り返す中、利用者の重度化と重なり、日曜作業所が家族以外の人と外出をする唯一の場としての傾向が強くなりました。利用者からも、「買い物以外にもいろんなことをやりたい」との希望が出て、季節感を味わえるレクリエーション的な中身が多くなり、さらに、要求別的小グループ活動へと変化してきました。現在は、職員や作業所側が用意したプログラムに乗るのではなく、大人として、自分たちの余暇を自分たちで企画して過ごす、『自治会活動日（キャンプ、オカリナコンサート、親睦旅行など）』として取り組んでいます。

県東ライフサポートセンターの余暇支援活動

県東ライフサポートセンターは

『余暇（生活）活動支援』として主に土曜日・日曜日・祝日を利用して様々な行事やレクリエーションを実施しています。精神障害者福祉支援として、個別・グループ・集団の側面から社会参加や自主的活動を支援し、その活性化を図っています。なかなか一人ではできないこともグループとして活動することで個々の役割が出現したり、またそのグループがいくつか集まり、大きな集団として活動することにより自分の場所・存在を確認できたりと人間社会の中の幅（拡がり）を地域交流と絡め、一人ひとりがそのニーズに対応した支援を受けながら、孤立したり、排除されることなく生活できるような社会における人々の『つながり』の構築を推進しています。

具体的な活動プログラムとして

は、スポーツ（ソフトボールやフットバレーボール等）・カラオケ・陶芸・料理・映画鑑賞等を定例プログラムとして実施する他、季節行事として納涼祭やクリスマス会の開催、自主活動の位置づけとして施設機関紙の制作や希望に沿った地域行事への参加等も行っていきます。また、自分自身の『居場所』として余暇時間を有効に活用できる場も休日に限らず提供しています。

行事・レクリエーションを通し、人と人との触れ合いから、自分なりの生活感を築きあげ、サポートセンターに限らず様々な社会資源を利用し、余暇（生活）が充実したものになるように支援していきたいです。



こぶし作業所ニュース

一〇〇五年夏季物品販売

今年も夏季物販の季節が来ました。昨年と同様になかま中心で事務局を立ち上げ、その中で「なかまの取り組みなので、自分たちで依頼文を作りたい!」というところから始まりました。文面も事務局会議での言葉を整理し、何度も意見を交わして作りました。また、新しい取り組みとして、なかま全員と職員個人のグラフと表を作り、お互いに競い合いながら、物品販売に対する意識を高めて取り組みました。その結果、昨年よりもたくさんのご協力をいただくことができました。

事務局では、目標金額五〇万円を設定しましたが、結果は目標を上回る八〇万円を超える売り上げになりました。純利益が一六五、〇三七円で、これから支給される(?)なかまのボーナスに還元されます。

最後になりましたが、ご協力いただいたみなさま、どうもありがとうございました。

なかまの声

(ある日の出来事)

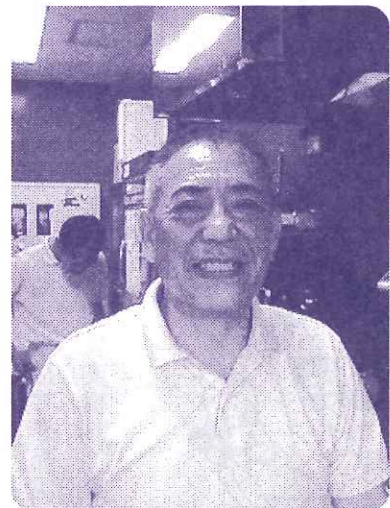
グループホームでのお風呂の入浴介助の際、いつもだと移動や体位保持にいろいろと注文が出るはずが、その日は「うまいもんだろ」と脱衣所から浴室まで、ほとんど自力で移動してくれるなど、これまでにないがんばりを目の当たりにしました。私は何も気付かずに「なんだか今日は、いつもと違う人みたい!! 体を良く動かしてるね」と声をかけていました。

しかし、よく話をしてみると、捻挫していた私の足のことを知って、負担を少しでも軽減してくれようと気遣ってくれての行動でした。「余計な気遣いをさせて、無理させちゃいましたね。職員失格だな~」という「いいんだよ。小幡さんと僕の仲じゃないか」と職員と利用者という単なる関係でなく、心を寄せ合う人と人の付き合いだといわれ、自分の浅はかさを恥じ、胸がじゅんとして目頭が熱くなっていました。仲間の大きな包容力にいつも支えられているから仕事が続けられているんだなあと改めて感じました。

新任職員挨拶

このたびキッチンセルプの調理員に配属されました菅谷です。

福祉分野は初めてですが、美味しいものをみなさんと一緒につくっていきたいと思いますので、よろしく願いいたします。



3 けやき作業所

けやき作業所

新任仲間独占インタビュー

四月から六人の新しい仲間がけやき作業所に加わりました。約半年が経過し、少しずつですが仲間になつてきました。そんなフレッシュな六人の仲間にけやき作業所についてインタビューしてみました。

①名前 ②出身校 ③出身地 ④趣味 ⑤好物 ⑥好きなTV
 Aけやき作業所の印象 Bけやき作業所に来てよかったこと C大変なこと Dこれからめざすもの

①大塚浩史 ②益子養護学校 ③益子町
 ④カラオケ(十八番はドラゴンボール)
 ⑤おにぎり(中身は鮭)
 ⑥ドラゴンボール A
 ①すごく忙しい B 給料をもらえること

①水沼義貴 ②益子養護学校 ③芳賀町
 ④音楽鑑賞(B,Z)
 ⑤醤油ラーメン ⑥うたばん A 忙しくて大変 B パンを作ったりするのが楽しい C たくさんのパンを作ること D もっとがんばって給料を増やしたい。もっといろいろな種類のパンを作りたい



①石原誉之 ②岡本養護学校 ③市貝町
 ④ガンダムマニア ⑤カレー ⑥電車男 A 学校とは違い、仕事をするのが大変 B いろんな人と仕事ができること C 自分で考えて作業を進めること D もっといろいろな人と話したい。就職したい

①富田望美 ②益子養護学校 ③茂木町
 ④スイミング(毎週土曜) ⑤辛口せんべい ⑥アンパンマン(ロールパンナちゃん大好き) A 野菜を切ったり、ご飯をもったり、弁当の仕事がすごく忙しい B みんなが私のこと「かわいい」って言うしてくれることがうれしいです C 新しい仕事をおぼえる

①大賀祐介 ②益子養護学校 ③益子町
 ④ボーリング(アベレージ100) ⑤焼き肉(味付きカルビ) ⑥ドラマ「がんばっていきまっしょい」 A パンを作ったり仕事はたのしい B 販売にいくることがうれしい C 仕事をしていると毎日すごく疲れる。朝の仕事は特に忙しい。でもがんばる B 給料が増えるようにパン班でがんばる。早番もしてみたい

①吉成洋平 ②富屋養護学校 ③宇都宮市
 ④ビデオ鑑賞 ⑤甘いもの ⑥アンパンマン・ドラえもん



今日のトピックス

8月28日に芳賀町花火大会が行われ、後援会活動として、けやき作業所は参加いたしました。昼は暑さもかさなりお客さんの入りが悪くなってしまいましたが、花火大会が始まる時間帯になると職員はフル活動でがんばりました。仲間たちにも協賛金周りなど広報活動をがんばってやっていただきました。

今月から新しくけやき作業所の職員になった仁平宣寿さんです。仁平さんは、以前知的障害者入所更生施設で働いていました。仲間と保護者とのかかわりを大事にしたいという希望から、けやき作業所にやってきました。これからけやき作業所で皆さんにイロイロな経験をしてもらいたいと思っているそうなので、皆さん期待してください。



県東ライフサポートセンター

e-mail elsc.13.10.1@guitar.ocn.ne.jp

真夏の祭典 **納涼祭!!**

～芳賀町花火大会を見学した後、サポートセンターに泊まっちゃいました～



8月20日(土)～21日(日)にサポートセンターで納涼祭を開催しました。スイカ割りや芳賀町花火大会見学・おにぎり作りなどボランティアの方も参加し楽しく行いました。その晩は…なんと、みんなでサポートセンターに泊まっちゃいました…。納涼祭の様子ハプニング等は機関紙「ほっとCHA」にて掲載します。どうぞお楽しみに!!

施設見学によせて ～さの訪問記～

現在、第2けやき作業所では新規事業の話がいくつかあり、喫茶店も候補の一つとして上がっています。その影響から、ある日メンバーのT・Kさんが、「喫茶店のある佐野の施設を見学に行きたい!」と声を大にして言ったのをきっかけに、総勢20名で8月12日さのを訪問させていただくことになりました。

充実した施設見学についての感想を紹介したいと思います。『地域生活支援センター・さの』:「普通の家っぽく入りやすかった。居心地が良かった」とアットホームで暖かい印象を持ちました。

『グループホーム』:数が多くて驚いたのと同時に「建物や設備がきれい」と、好印象!「住んでみたい」という声もありました。

『作業所』:ほとんどの方が遠くまで自転車通勤をしていることに感心しました。(第2けやきでは送迎バスがあるので)

『みんなの家』:「ここはどこ!?!」と一瞬避暑地に来ているようなウッドデッキとテラスのある建物に心奪われつつ、ここで昼食をとり、心なやましていただきました。

『お弁当部』:出来立てでおいしかったです。スタッフに頼らず買い物から配達までメンバーさんが担っている姿を「私たちも目標にしていきたい」と自分たちの仕事を見直すきっかけになりました。

『喫茶店』:待ちに待った喫茶店!自家焙煎をしているコーヒーの味は格別で「おいしかった」とみな絶賛でした。喫茶店を経営していくポイントをたくさん聞くことができ、店長や店員をメンバーがやっているのを見て励みになりました。

メンバー同士の結束力や楽しみつつも責任を持った仕事への取り組み、それを支える施設ごとの役割やネットワークの強さを感じ、よい刺激となりました。当日はお盆休み前のお忙しい中、メンバー・スタッフの皆さんに暖かく迎えていただきありがとうございました。

『豪快なサク越え連発!?!』の巻

八月十七日サポートセンターグラウンドにて



今月のポイント

一 サポセン日記 第4巻 一

厄明けから今年はいろいろあった。仲間で亡くなった、陰が入選したいと。一番喜んでくれそうだったのに……。中学・高校と一緒だった友人が膠原病という難病にかかっていて、顔も見に行きたかったが、なかなか良い返事が返ってこなかったその友人から最近「入選おめでとう」という電話があり、「今度遊びにおいで」という返事ももらった。悪い事はかきかきつけない!期望は長いが短いかはあはるけど自分を応援していきたいです。(SCメンバーより)

サポートNEWS

もう秋だ～!。SCの秋のテーマはズバリ!「陶芸」です。レクリエーション活動として9月より始める予定です。陶芸を通じて一瞬でも精神統一し、新たな自分が発見できれば…と思っています。(W)

第2けやき作業所

Dai2-Keyaki

第2けやき作業所メンバー紹介 沼生隆雄さんです!!

皆さんこんにちは。

7月から第2けやき作業所を利用することになりました沼生隆雄です。今までは県東ライフサポートセンターを利用していましたが、自分も作業をしてみたくなり、第2けやき作業所を利用することになりました。作業所でみんなとお話することはとても楽しいです。友人をたくさん作りたいです。

お弁当販売でけやき作業所にも行く機会があるので、けやき作業所でも友人が増えたように思います。送迎バスを利用していますが、バスに1時間30分も乗っているのは退屈かな。

火曜日はホームヘルパーさんが来る日です。月に一度は県東ライフサポートセンターの職員も自分の家に来てホームヘルパーさんと、サービスについて話し合います。ヘルパーさんと一緒に掃除をしたり料理を作ったりしています。お掃除が終わった後は気持ちが良くなります。料理を作るのに、まだ何を買っていいかわからなくて前に買った物と同じ物を買ってきて野菜が無駄になります。

第2けやき作業所、県東ライフサポートセンター、社会福祉協議会のヘルパーさんなどにお世話になっています。

人生を楽しく生きたいです。



みらいニュース



夏のボーナスの取り組み

今年の夏、セルプ・みらいでは夏のボーナスの資金づくりとして、きょうされんの夏季物資販売に取り組みました。「自分たちのボーナスは、自分たちで稼ごう!」ということで、各関係機関、学校などに依頼に出かけました。その甲斐もあって、¥561,420の売り上げがあり、¥124,408の収益が上がりました。これに東部工業の仕分けの作業収入¥26,250をたした¥150,658がボーナスの資金源になりました。そして、9/9(金)1人平均¥5,000のボーナスが支給されました。このボーナスの分け方を決めるとき、なかまたちと職員は頭を悩ませました。最初「みんな同じ金額でいいよ」と言っていましたが、「毎日がんばっている人と、休みが多い人とで、一緒にいいの?」という疑問が出てきました。そこで、収益を全員の総出

勤日数の合計で割り、1日あたりの単価を計算し「出勤日数が何日だといくらもらえる」というように、具体的な金額を出して、ホワイトボードに書き説明をしました。自分たちが実際にいくらもらえるのかがわかると、みんな「やっぱり少しでも多くもらいたいよ!」という意見に変わりました。そしてはじめの均等配分ではなく、出勤率を反映させた支給となりました。さらに今回のボーナスは今までとは違い、給料の何か月分という支給ではなく、自分たちで稼いだお金をみんなで分けるという新しい支給の仕方だったので、その分け方1つとってみても、ボーナスについていつもよりも深く考えられたと思います。冬のボーナスにむけて、冬季物販(カレンダー販売)もがんばっていきます!

俣川君、実習頑張っています!!

県立高等産業技術学校から電話があったのは、6月のことでした。「真岡市内で受け入れてくれる実習先があったが、誰か該当する人はいないだろうか?」とのことでした。この実習は、産業技術学校の学生として実習受け入れ先で3ヶ月の実習を行い、更に3ヶ月のトライアル雇用を経て正式採用につなげるものです。もちろんジョブコーチ制度も適応されます。仕事の内容が給食づくりと聞き、みらいで「弁当班」として頑張っている俣川君が候補にあがりました。本人もちよっぴり不安はあるもののやる気満々!早速話を進めました。実習先は市内の

老人ホームです。8月18日から毎日自転車で通っています。「とても素直で、言われたことはきちんとやっています」と評価されています。大きな身体を生かし、大鍋を持ちたり、重いカートを動かしたりと「俣川君がいてくれないと困るなあ」と言ってもらえるように頑張っていると思っています。G・H「ほてつ」での生活もスタートし、自立への一歩を踏み出した俣川君、実習を成功させ、真の自立に向かって着実に歩んで行って欲しいと思っています。♪あしたの空へむかって…ファイト!!

『みらい弁当』の取り組み

セルプ・みらい自主事業の『みらい弁当』は、1日売上目標を80食としております。品質に対する試行錯誤やお客様のご愛顧により、今年度、月の平均売上個数76食という実績をつくり、目標まであと一歩というところまでできております。そこで弁当作りの体制を強化し、よりおいしい弁当作りを追求してゆくため、弁当班メンバーを新たに増やすことにしました。現在4人のメンバーがすでに検便を終え、厨房内にて実習を行っているところです。実習を行うメンバーの様子は、清潔でおいしい弁当を作るため、真剣なまなざしと態度で日々頑張っています。それでは、実習メンバーの感想を紹介します。

(実習の感想)

こんにちは。私は下請け班で、きむらのかきもちの箱おりをまかされています吉沢といいます。1週間だけでしたが、ちゅうぼうに入り仕事をしてきました。さいしょは、とまどうばかりでした。けど少しずつおぼえないと、と思いノートにかいておきました。でもじっさいやってみると、なかなかついていけない時もありました。けど、みんな、てきぱきと自分のもちばをやりこなしながら動くのを見て、いい勉強になりました。

これからは、弁当配達に新しい顔ぶれが並びことになります。『みらい弁当』一同頑張っていますのでどうぞ、よろしくお願いします。

僕たちのこと
 もっと知ってほしい!

ボランティア大募集

けやき作業所では、作業・創作活動・GHなどで、利用者さんとの交流をして下さる方を大募集!

興味ある方は、まず連絡を!

けやき作業所
 028-687-1040



**こぶし作業所・後援会
 ボランティア大募集!**

1. 日常の利用者の作業補助
2. キッチン・セルフ (軽食喫茶店) の作業補助
3. フリーマーケットの準備・参加 (毎月第4日曜日)

お待ちしています


お問い合わせ こぶし作業所
 ☎028 (662) 1911

休日を利用して

体験ボランティアしてみませんか?

○第2けやき・ライフサポートセンターは、なし畑に囲まれたのどかなとつてもよいところですよ!

☆第2けやき作業所
 ☆県東ライフサポートセンター



セルプ・みらい

ボランティアさん募集!!

- 箱折り
- アールの取戻糸且み (※1・3火曜日AM中)

※詳しくは、セルプ・みらいまで...
 ☎0285-81-1155



発行所 郵便番号 357-0033

特定 社会福祉法人 社会福祉法人 こぶしの会

● 法人事務局 こぶし作業所	☎321-0902	栃木県宇都宮市柳田町1401 TEL 028 (662) 1911 FAX 028 (662) 1912
● 生活支援センター		TEL 028 (613) 5703 E-mail kobushi@chive.ocn.ne.jp
● キッチンセルフ	☎320-8508	栃木県宇都宮市若草1-10-6とちぎ福祉プラザ内 TEL 028 (622) 0966
● こぶしのときわ荘	☎321-3235	栃木県宇都宮市鑑山町字東原146-7 TEL 028 (667) 5531
● く る み	☎321-0912	栃木県宇都宮市石井町2867-3 TEL 028 (664) 0414
● けやき作業所 デイサービスセンター	☎321-3304	栃木県芳賀郡芳賀町祖母井2244 TEL 028 (687) 1040 FAX 028 (677) 5789 E-mail keyaki@carrot.ocn.ne.jp
● 第2けやき作業所	☎321-3303	栃木県芳賀郡芳賀町稲毛田1532 TEL 028 (677) 0495 FAX 028 (687) 4818 E-mail inageda@fancy.ocn.ne.jp
● 県東ライフサポートセンター		TEL 028 (687) 0311 FAX 028 (687) 0325
● すずらんの家	☎321-3304	栃木県芳賀郡芳賀町祖母井2305-2 TEL 028 (677) 4430
● けやきハイッ	☎321-3304	栃木県芳賀郡芳賀町祖母井178 TEL 028 (677) 2876
● 第2けやきホーム	☎321-3304	栃木県芳賀郡芳賀町祖母井1204-4 TEL 028 (677) 0776
● セルフ・みらい	☎321-4363	栃木県真岡市亀山1043-23 TEL 0285 (81) 1155 FAX 0285 (81) 1177 E-mail selp-mirai@carrot.ocn.ne.jp

定価五〇円